

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

10. 呼吸器系の疾患 (インフルエンザ、鼻炎を含む)

文献

岩崎綱, 田口眞寿美, 丁宗鐵, ほか. 麻黄附子細辛湯が高齢者におけるインフルエンザワクチン接種に及ぼす影響. *漢方と免疫・アレルギー* 2004; 17: 97-103.

岩崎綱. 高齢者のインフルエンザと漢方. *TSUMURA Mail Magazine* 2008; Suppl: 22-3.

1. 目的

高齢者におけるインフルエンザワクチン接種に及ぼす麻黄附子細辛湯の有効性と安全性

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (封筒法) (RCT-envelope)

3. セッティング

記載なし

4. 参加者

2 種類の A 型インフルエンザ抗体価 (H1N1, H3N2) を HI 法で測定し、両方 10 倍未満である患者 18 名

5. 介入

Arm 1: ツムラ麻黄附子細辛湯エキス顆粒 7.5g/日 10 名

Arm 2: 非投与 8 名

6. 主なアウトカム評価項目

Arm 1 に対しては接種 7 日前から接種 14 日後までツムラ麻黄附子細辛湯 7.5g/日を内服。ワクチン接種 4 週後に抗体価を測定。前値からの上昇率を両群間で比較。

7. 主な結果

Arm 1 と Arm 2 ではインフルエンザワクチン接種による H1N1 抗体の上昇率に差はなかった。H3N2 抗体価の上昇率は Arm 2 が平均 4.9 倍に対し Arm 1 で 57.3 倍で有意な上昇 ($P<0.04$) が認められた。また、観察期間中のインフルエンザ罹患は Arm 1 でなかったが、Arm 2 で 2 名に認められた。

8. 結論

H3N2 抗体価の上昇率については Arm 1 は Arm 2 と比較し有意に上昇。H1N1 抗体の上昇率に差は認めない。麻黄附子細辛湯はインフルエンザワクチンによる H3N2 抗体価の上昇を促進し、特異的免疫を増強させることが示唆される。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

インフルエンザの発生で合併症の肺炎などの感染症で死亡する可能性が高い高齢者に対して、抗体産生を高めることは予防効果として重要である。また医療経済的にも有用と考えられる。その点からインフルエンザ抗体が低値の高齢者に抗体産生を促進させるアジュバント作用を期待して麻黄附子細辛湯を投与し、抗体価の上昇を得られるか検討した研究である。この研究は高齢者のうち、インフルエンザ抗体産生の低反応者に対しての一つの対策として注目を浴びる研究である。2 種類の抗体価のうち H3N2 抗体価の上昇率はコントロール群と比較し有意に上昇したのに対し H1N1 抗体の上昇率に差は認めなかった点の理由の解明、また、特異的な抗体産生をすることができるのかなどの検討をする必要がある。この研究での問題点としては症例数が少ない点である。今後の検討としては、症例数を増やす必要がある。またインフルエンザ抗体産生の低反応者に対しての抗体価を増やす効果のある他の漢方薬の探索やその漢方薬の投与方法などの検討が期待されることである。岩崎 (2008) では、例数をコントロール 15 名、麻黄附子細辛湯 18 名に増加させた。結果はほぼ同じで、麻黄附子細辛湯群で H3N2 抗体価が上昇した。

12. Abstractor and date

並木隆雄 2007.6.15, 2008.4.1, 2009.3.12, 2010.6.1, 2013.12.31